

科目ナンバー： 研究・CNS：MC4033

授業コード： 6630400300

講義科目名称： 小児看護学援助論Ⅱ

英文科目名称： Child and Family Health Nursing Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎大久保明子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】 【氏名】 ◎大久保 明子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 207	【メールアドレス】 ohkubo@niigata-cn.ac.jp	
	【本学の科目区分】 専門分野				
	研究 CNS 助産	【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】 ○	【DP4】 ○

到達目標	1. 小児看護の複雑な援助状況を理論的に分析・説明できる。 2. 子ども・家族を中心とした包括的支援を説明できる。 3. 小児看護における研究課題を理論的に導出できる。
------	--

授業概要	「小児看護学援助論Ⅰ」で学んだ理論的基盤を踏まえ、臨床・研究・教育における小児看護援助の発展的展開を探る。特に慢性疾患児、医療的ケア児、終末期ケア、家族支援、地域連携などの高度実践を理論的に構築する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容            授業形態：プレゼンテーション・討論            学修課題：小児看護学の専門性            学修内容：小児看護の専門性に関する文献検討と討論            事前学修：小児看護の専門性に関する論文を検索し、討論する文献を選択する            事後学修：文献や自己の経験を踏まえ、小児看護の専門性について自身の考えを整理する            備考：大久保</p> <p>2 授業内容            授業形態：プレゼンテーション・討論            学修課題：小児看護におけるコミュニケーション            学修内容：子どもの発達段階や状況に応じた対話            事前学修：文献や経験から子どもや家族とのコミュニケーションにおける課題を整理する            事後学修：討論を通して自己の対話過程を分析する            備考：大久保</p> <p>3 授業内容            授業形態：プレゼンテーション・討論            学修課題：入院中の生活支援と教育的関わり            学修内容：環境調整・学習支援・遊びの援助            事前学修：入院児の教育の制度を確認する            事後学修：支援の枠組みをまとめる            備考：大久保</p> <p>4 授業内容            授業形態：プレゼンテーション・討論            学修課題：小児の疼痛・苦痛への看護            学修内容：痛みのアセスメントと援助            事前学修：小児疼痛管理の文献を読む            事後学修：臨床実践に活用できる援助技術をまとめる            備考：大久保</p> <p>5 授業内容            授業形態：プレゼンテーション・討論            学修課題：子どもの権利と看護            学修内容：子どもの権利条約・インフォームドアセント            事前学修：権利擁護に関する国際的動向を確認する            事後学修：実践における権利擁護の課題を整理する            備考：大久保</p> <p>6 授業内容</p>
------	---

	<p>授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：小児看護における倫理的課題（1）  学修内容：侵襲的処置・終末期・意思決定支援  事前学修：倫理原則（自律・善行・無害・正義）を復習する  事後学修：自己の経験を踏まえ、倫理的課題を整理する  備考：大久保</p> <p>7  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：小児看護における倫理的課題（2）  学修内容：倫理的課題の事例検討  事前学修：倫理的ジレンマの事例を準備する  事後学修：倫理的課題を理論的に分析し、看護対応を検討する  備考：大久保</p> <p>8  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：チーム医療における小児看護の役割  学修内容：多職種連携の理論と実践  事前学修：チーム医療に関する理論を予習する  事後学修：自施設の連携体制を理論的に分析する  備考：大久保</p> <p>9  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：医療的ケア児支援と社会制度  学修内容：医療的ケア児支援法・教育・福祉制度  事前学修：関連制度の概要を調べる  事後学修：医療的ケア児への看護支援の課題を整理する  備考：大久保</p> <p>10  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：小児在宅看護の実践と展開  学修内容：地域包括ケアと家族支援  事前学修：在宅医療・訪問看護制度について整理する  事後学修：在宅支援の課題を整理する  備考：大久保</p> <p>11  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：小児期発症慢性疾患児の移行支援と展開  学修内容：移行支援における看護師の役割  事前学修：小児期発症慢性疾患児の移行支援について調べる  事後学修：移行支援における看護師の役割を整理する  備考：大久保</p> <p>12  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：子どものエンド・オブ・ライフケア  学修内容：子どものエンド・オブ・ライフケアの対象と看護  事前学修：子どものエンド・オブ・ライフケアに関する文献を読む  事後学修：子どものエンド・オブ・ライフケアにおける看護師の役割を整理する  備考：大久保</p> <p>13  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：家族の悲嘆と再適応支援  学修内容：スピリチュアルケア、グリーフケア  事前学修：グリーフに関する代表的理論を調べる  事後学修：子どもをなくした家族へのグリーフケアについて整理する  備考：大久保</p> <p>14  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：子どもの悲嘆とグリーフケア  学修内容：子どもの悲嘆、子どものグリーフケア  事前学修：子どもが抱える悲嘆について調べる  事後学修：子どもへのグリーフケアについて整理する  備考：大久保</p> <p>15  授業内容  授業形態：プレゼンテーション・討論  学修課題：まとめと今後の課題  学修内容：学びの統合  事前学修：全体の学修内容を整理する  事後学修：今後の研究・実践への展開をレポートする  備考：大久保</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標 1, 2, 3 に対して、プレゼン資料作成（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）で評価する。
テキスト	適宜、提示する
参考図書・資料等	適宜、提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。

教員からのメッセージ	小児看護に関する文献をよみ、課題を主体的に進めてください。
オフィスアワー	事前にメール等で予約をしてください。